

平成23年2月

池田智子 学位論文審査要旨

主査	黒	沢	洋	一
副主査	原	田		省
同	前	田	隆	子

主論文

高校生における月経痛と関連する因子の実態調査とリラクゼーション法による月経痛の軽減効果

(著者：池田智子、鈴木康江、前田隆子、原田省)

平成23年 母性衛生 52巻 掲載予定

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は高校生における月経痛と関連する因子の実態を明らかにし、リラクゼーション法による月経痛の軽減効果を検討した論文である。高校生における月経痛は、学年が上がるにつれ増強傾向を示した。月経痛は、初経年齢、経血多量、睡眠状態の不良、生活上のストレス感、冷えの自覚、月経に関するイメージと関連していた。月経痛に影響する因子であり、思春期の健康問題としても重要である生活上のストレスと睡眠状況に着目し、リラクゼーション法の実践が月経痛軽減に有効であるかをランダム化比較試験で検討し、月経痛軽減の有効性が示唆された。

本研究は本邦の思春期女子における月経痛の実態を明らかにし、補完・代替医療による月経痛の対処法の可能性を示すものであり、学術水準を高めたものと認める。